

## 健全育成シリーズ(220) 甲子園の監督

高校野球の全国大会は8月8日に開幕して今年も熱戦が繰り広げられた。

たまたま週刊誌を読んでいて、常総学院の木内監督が記事の中で「大阪でも二つは勝ちたい。ただ、今年をつくったピッチャーだから大変だよ。もともとキャッチャーだから。ああ、生まれたピッチャーが欲しいな」と語っている。木内さんは78歳で23度目の甲子園出場を果たした。そして二度優勝をしている。その監督の話なので興味をそそられた。「つくった」という言葉には、チームの事情を考慮して無理をしたというニュアンスを感じる。では生まれたピッチャーとはどういうピッチャーなのだろうか。生まれついてその素質を持っているということなのだろうか。それにしても、おもしろい表現をするものと思った。

プロ野球で活躍している楽天の田中投手と巨人の中心打者の坂本選手は、少年野球時代にバッテリーを組んでいて、田中選手は捕手だったという。田中選手はいつ投手になったのだろう。木内監督流に言えば、誰かがつくった投手だったということになる。木内監督の嘆きは嘆きとして、選手の素晴らしいプレーにテレビの画面にくぎづけになっていた。

今年は残念ながら一回戦で九州国際大学附属高校に負けてしまった。

高校野球の名物監督では、池田高校の蔦監督を思い出す。さわやかなイレブンで甲子園を沸かした。何か独特の雰囲気をもっていた。監督と選手たちの固い絆を感じていた。甲子園の時期にはさわやかな風が日本中に吹いているようだ。

## 第1回防火ポスターコンクール

消防本部では、住民の防火意識を高めるため「第1回防火ポスターコンクール」を開催しました。市内の小学生から232点の応募があり、審査の結果、最優秀賞2点・優秀賞4点・努力賞18点の計24点が入選しました。

## 低学年の部

- 最優秀賞** 東桂小学校3年 三枝梨愛  
**優秀賞** 東桂小学校3年 井出皐月、志村七海  
**努力賞** 東桂小学校3年 小澤夏姫、中野友裕、根岸優斗、藤本圭吾、  
 稲村祐香、金子真己、菊島世奈、原田実有  
 谷村第一小学校2年 藤本桜花

## 高学年の部

- 最優秀賞** 文大附属小学校4年 宮澤美乃里  
**優秀賞** 旭小学校6年 落合信吉  
 東桂小学校4年 堀口佳乃  
**努力賞** 宝小学校5年 坂本捷真、尾畠 碧  
 東桂小学校4年 亀田桃花、鈴木龍之介、中野瑞紀  
 宝小学校4年 森嶋明日香、前田圭太、野武このは、中江 梓

問合せ 消防防災課 ☎(43)1119



低学年の部 最優秀賞作品



高学年の部 最優秀賞作品

## 伝言板

富士・東部保健福祉事務所

(富士・東部保健所)

感染性胃腸炎にご注意を!

感染性の胃腸炎は一年を通して発生しますが、秋から冬期にかけて発生の増加傾向にあります。主な病原体はノロウイルスや、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなどで、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を伴います。特に子どもやお年寄りなどでは重症化しています。主な原因には感染者のふん便・嘔吐物を処理する際にウイルスの混じった水滴を取り込む飛沫感染や汚染された物を触つての接触感染が上げられます。

今年は、新型インフルエンザがこの冬季に再流行すると予測されています。インフルエンザも飛沫、接触感染を起こすことから、家庭や施設などでは感染症に対しての注意が必要です。

感染を予防するには!

○ふん便、嘔吐物の処理が大切ですが、必ず手袋・マスク・エプロンをつけて、素手では処理しないようにしましょう。  
 ○ウイルスを外に追い出すように窓を開けて換気をし、清掃後には塩素系漂白剤での消毒や使った食器・道具類、トイレなども消毒しましょう。

○外出し帰宅したら、感染症対策として、必ずうがいと石けん・ハンドソープでの手洗いを行いましょう。

問合せ 地域保健課

☎0555(24)9035